

秘伝「信州教育の極意」

公益社団法人 信濃教育会編

近代社会において、長野県の教師として活躍し、いわゆる「信州教育」の潮流を生みだしてきた人物の言葉を温ね、今を生きる現役教師自身が自らの教育経験に重ねて綴った。それらの言葉たちを「信州教育の極意」として多くの教師が共有し、後世につないでいくことを願う。

一般社団法人信州教育出版社

秘伝「信州教育の極意」

■ A 5 判・並製・カバー装

■ 1 3 6 ページ

■ 定価 1 5 0 0 円（税込み）

発行



一般社団法人

信州教育出版社

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL 026-232-0291

取扱い

株式会社

しんきょうネット

本社 〒380-0846 長野市旭町1098 TEL 026-233-1135

ご注文は、しんきょうネットまで

FAX フリーダイヤル：0120-25-1098

秘伝「信州教育の極意」

注文書

下記のとおり注文します。

ご注文日：令和 年 月 日

《学校関係の方》

学 校 名	学校
注文責任者氏名	

《学校関係以外の方・長野県外の方》

電 話 番 号	
お 届 け 先 ご 住 所	〒

注 文 者 氏 名 (公用の場合は「公用」と記入)	注 文 冊 数

【学校関係以外・長野県外のお客様へ】

※別途送料がかかります。お支払いは、郵便振替となります。

※FAXフリーダイヤルは、長野県内のみです。県外よりお申し込みの場合は、

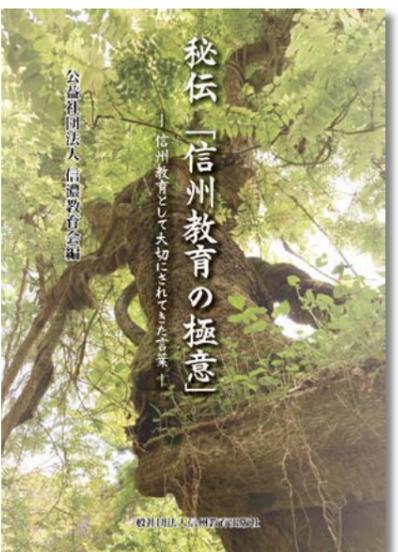
E-mail : sales07@shinkyo-net.co.jp または、TEL : 026-233-1135 までお願いいたします。

『秘伝「信州教育の極意」』発行にあたり

公益社団法人信濃教育会会長 大日方貞一

この度、関係の皆様のご尽力で、『秘伝「信州教育の極意」』を発行する運びとなりました。

各時代を生きた数多の先人は、常に教育の真髄を問い続け、新たななるものに挑戦し、理想とする教育を打ち立ててきました。その功績は、先人が遺した珠玉の言葉に象徴されます。今を生きる先生方には、先人の言葉を通して自己の在りようを見つめ直すことで、信州の教師としての自信と誇りを新たにされることを願っています。そして、本書が多くの方の「座右の書」となることを期待いたします。



『秘伝「信州教育の極意」』 発刊に寄せて

長野県教育委員会 教育長 武田育夫

教育に携わる者のみに理解される「言葉」がある。それは「理解」というよりも「肌で感じる」と言った方がいいかもしれない。

子どもを中心に置き、教育の理想を追い求めてきた先輩教師たちの「ことば」を、今子どもと日々暮らしている信州の教師たちはどのように「肌で感じる」のであろうか。

『秘伝「信州教育の極意」』は、信州の教師たちが時代を超えて織りなす教育哲学と言っているのではないだろうか。信州の教師必読の一冊であろう。

秘伝「信州教育の極意」目次

はじめに 公益社団法人信濃教育会会長 大日方貞一

監修の言葉 国立大学法人信州大学学術研究院教育学系准教授 高柳充利

掲載人物年表

掲載人物と長野県との所縁

- ・人々の心匠を造成する 浅井湧
- ・学ぶに資なく究むるに道なき無産階級の子弟に 保科百助（五無齋）
- ・天賦の特性を発達せしめんことを期す 井口喜源治

コラム

「東洋道徳・西洋芸術」を融合させた人物
松代町に生まれた兵学者朱子学者思想家 佐久間象山

- ・子供に注意を向けること 島崎藤村
- ・師道立つ 岡村千馬太
- ・皆のお父さん 山口菊十郎
- ・此の壁を破る 太田水穂

コラム

養蚕業の近代化・上田東高校初代校長 三吉米熊

- ・真の教育は 手塚縫蔵
- ・彼等自らをして 長谷川五作
- ・しんみりと二人して話してごらんなさい 木下紫水

コラム

人工癌実験成功 幻のノーベル賞 山極勝三郎

- ・坐り込む 藤森省吾
- ・ホースのことはホースだけではないんだ…… 土屋弼太郎
- ・われこそ先に 林芋村
- ・将来の信州 平林広人

コラム

名曲『ふるさと』を生み出した作詞家 高野辰之

- ・嘘を教えるな、怪我をさせるな、火事を出すな 長坂利郎
- ・技術を芸術に 矢島麟太郎
- ・児童のうちから 淀川茂重

コラム

児童の自由画教育・クレパス開発にも尽力 山本鼎

- ・子どもをよくするには先ず教師がよくなることだ 松島八郎
- ・教育によって なすことによつて 矢口亨
- ・大愛 川口五男人
- ・どんなことでも、ぐちつたら負けよ 丸岡秀子

コラム

今も歌い継がれる 数々の童謡を生み出した作曲家 中山晋平

- ・学びひたり教えひたっている、そんな世界を見つめてきた 大村はま
- ・不断の研究を忘れてはならない 丸山利雄
- ・自己を陶冶する 加藤明治

コラム

生活技術としての言語を大切に国語教科書の編纂に取り組んだ 西尾実

- ・心と心の結びつき 近藤頼道
- ・一流を目指す 唐澤正國
- ・悔恨の深いことは尊ぶべきこと 吉岡正幸
- ・この土と吾とが同一でなければ 倉田春木

コラム

命の輝きを児童文学・動物文学で伝えた 椋鳩十

- ・通知票は何のためにあるのか 深井和
- ・わからなかったことが解るといふことは、楽しいことだ 宮川孝男
- ・子どもと一緒に 篠原菊彌

コラム

生涯を書き捧げ 書道教育に新たな道を拓いた人 上條信山

- ・寺二大小アレドモ 住持二大小ナシ 毛涯章平
- ・教師の出発点 奥村秀雄
- ・影にかくれた子供は、とんと見えない 安西道子
- ・たくさんの方が集まって線になるんだ 森山明治

コラム

平和を願い 子どもたちを描き続けた いわさきちひろ

あとがき 秘伝「信州教育の極意」編集委員会委員長 宮下聡